*2010 年 4 月 26 日（第 2 版）
2008 年 6 月 18 日（新様式第 1 版）

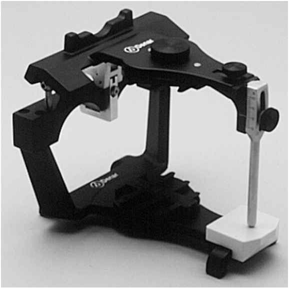
届出番号：13B1X00005000166

機械器具 68　印象採得又は咬合採得用器具
一般医療機器　歯科用咬合器　JMDN:10201000

デナーオートマークＰ

【形状・構造及び原理等】

1.外観写真



２．仕様
寸法：Ｗ126mm×Ｄ150mm×Ｈ110mm（突起部を含まない）

３．原材料
本体：アルミニウム、ステンレス鋼、ポリエチレン

【使用目的、効能又は効果】

予め記録した顎間関係に従って上顎及び下顎模型を取り付け、下顎運動の一部をシミュレートする。

【品目仕様等】

顆　　　路：固定式
　　　　　　矢状顆路傾斜　25°
顆頭間距離：片側 55mm

【操作方法又は使用方法等】

詳細は取扱説明書を参照すること。

１．セントリックラッチの解除
咬合器の後部を持ったままで、セントリックラッチの底部に中指をあて、中指の腹でラッチを強く上方に押し上げると、パチッという音がして、セントリックラッチとセントリックピンが分離する。

２．マウンティングプレートの取り付け方
①マウンティングプレートの基底面と咬合器のプレートの接触面を清掃する。
②左手でプレート、右手で本体を持ち、右側から見て、咬合器に対してプレートを時計方向に強く押し付けた上で、固定ネジを同じく時計方向に回して固定する。

３．ラッチのかけ方
①上下弓を組み合わせ、左手の親指でセントリックラッチレバーを下方に押し下げると、カチッと音がしてラッチがかかる。
②上下弓を組み合わせ、顆頭球が関節窩内の最後方、最上方で左右に偏りがない位置にあることを確かめてから、顆頭球を偏位させないようにしながら開口するとラッチがかかる。

4.操作方法－机の上に置いて操作する方法
前方運動
咬合器に左手をかけ、右手の親指と示指でインサイザルピンを掴み、ピンを後方に押す。その際、左手の親指はレストの上に置いて、顆頭球が左右に偏位せず、しかも関節窩上壁から離れないように誘導する。
左側方運動
①前方運動の場合と同様に指を当てたまま、咬合器を基準位に戻す。
②インサイザルピンを咬合器の右側へ引き寄せる。この時、左手の親指をレストの上に置いて、手前と下方に力を加える。
右側方運動
①左側方運動と同様に指を当てる。
②インサイザルピンを咬合器の左側に押す。この時、左手の親指はレスト上に置いて、下方と咬合器の左側に力を加える。

5.操作方法－両手で持って操作する方法
前方運動
①左手で上弓、右手で下弓を持つ。
②左右とも手の平がマウンティングプレート固定ネジの上になるように置き、親指を右側犬歯または小臼歯の歯頚部付近に、中指を左側犬歯または小臼歯の歯頚部付近に置く。
③右手で下弓を静かに咬合器の前方に移動させる。この時、手根部で咬合器の上下弓を押し付けるようにする。
左側方運動
①前方運動の場合と同様に咬合器を持ち、下顎模型全体を咬合器の左側へまっすぐ動かすつもりで運動させる。
②何度かこの運動を行った後に、左手を持ち替えて、中指を左関節窩の外側面と顆頭球に当てる。
右側方運動
下顎全体をまっすぐ咬合器の右側へ動かすつもりで運動させる。

【使用上の注意】

①本品は、記載の使用目的のみに使用すること。
②本品は、歯科医療有資格者のみ使用すること。
③石膏から出る湿気とアルカリ成分が咬合器の表面に損傷を与えることがあるので、模型を取り付けた咬合器をキャリングケース、ボール箱等に入れる場合は、丸１日経過してから入れること。*

【貯蔵・保管方法及び有効期間等】

（保管方法）
①本品は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管、管理すること。

取扱説明書を必ずご参照下さい。

②清潔な乾燥した、石膏やカーボランダムの粒子が付着しない場所に保管すること。
③酸、アルカリ、腐食性薬剤から離して保管すること。

【保守・点検に係る事項】＊
詳細は取扱説明書を参照すること。
清掃
①ブラシを用いて石鹸と水で付着したワックスやカーボランダムの粒子を洗い去る。
②乾燥させてから注油する。
③強力な洗浄剤、アルカリ、ガソリン、ナフサを洗浄に用いないこと。
注油
①作動部には機械油、高速ハンドピース用オイルを塗布し、薄い皮膜を作る。
②余分な油は埃や粒子の付着を防ぐために拭き取る。

【包装】
本体１台

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売元：株式会社ヨシダ
住　　　所：〒110-8507
東京都台東区上野 7-6-9

お問い合せ先
器材営業本部
電 話 番 号: 03-3845-2931
ＦＡＸ番号: 03-3841-8204

製　造　元：ウィップミックス社
Whip Mix Corporation
（国名：アメリカ合衆国）

取扱説明書を必ずご参照下さい。